朝刊 2026/08/03(月)

1 3版 令和8年(2026年)8月3日 月曜日 熊本日日新聞 (昭和17年4月1日第3種郵便物認可) 第30267号 日刊

熊本地震 初の関連死か

車中泊の70代女性 熱中症疑い

熊本県は2日、2026年熊本地震で車中泊していた70代女性が熱中症の疑いで死にしたと発表した。初の災害関連死の可能性がある。この女性と、地震との関連を調査中の2人を含む県内の死者は38人になった。

八代広域消防本部によると、車中泊中にくなった女性は7月30日に氷川町で発見された。また県は、甲佐町でくなったベトナム人男性の氏名がチャン・ヴァン・ソンさん(24)=同町中山=で、死因が重症頭部外傷だったと発表した。

被災自治体の報告に基づく市町村別の死者は、八代市20人、嘉島町7人、氷川町4人、宇城市3人、甲佐町1人。

県内の避難者は午後7時時点で21市町の避難所206カ所に8480人が避難している。住家被害は4213戸で、全壊181戸、大規模半壊20戸、半壊2225戸、一部破損1771戸などとなっている。

断水は午後2時時点で5市町の約4万6700戸。宇土市と天草市では解消した。

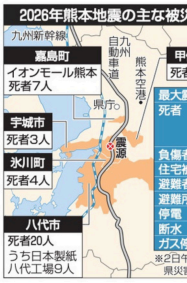
九州ガス(長崎県諫早市)は、約9千戸で都市ガスの供給が停止している八代市について、3日までに2969戸への供給再開を目指す。管の損傷箇所が多い残りの約5900戸は、復旧に1~2週間程度を要するとした。

鉄道はJR鹿児島線の熊本―宇土が2日、本数を減らして運行を開始。三角線の宇土―三角は通常運行を再開した。

県管理道路は8路線の8カ所で全面通行止めが続く。県道八代銀河線の倒壊建築物は、5カ所のうち3カ所が撤去、残り2カ所も3日午前7時までに撤去予定で、国土交通省は渋滞が続く。国道3号の迂回路として利用を呼びかけている。(熊本地震取材班)

炎天下の被災地 強い日差しの中、家屋の片付けで出たごみを外に出す被災者=2日午後5時15分ごろ、宇城市小川町(上杉勇太)

2026年熊本地震の主な被災状況



最大震度	7
死者	38人 うち災害原因と確認35人
負傷者	114人
住宅被害	4,213棟
避難者	8,480人
避難所	206カ所
停電	536戸
断水	46,700戸
ガス停止	調査中

※2日午後8時まで、県災害対策本部まとめ

県内自治体の断水戸数(概数)

熊本市	宇城市	甲佐町
2,250	15,650	300
八代市	氷川町	
25,300	3,200	

※2日午後8時まで、県災害対策本部まとめ

お断り

地震の影響で、朝刊が一部の地区に配達できなかったり、遅れたりしています。大変ご迷惑をおかけしています。また、道路事情が悪い被災地域にも可能な限り届くお届けするため、紙面制作上での大幅に前倒しとなり、夜開催のスポーツ記録などが掲載できない場合があります。さらに新聞紙の安定的確保が困難なことから通常1/4ページ数が少ない特別紙面で「くらし」「教育科学」「7月のファイル」は休みました。地震に関する最新の記事は熊日電子版に掲載しています。「熊日紙面ビューアー」は無料でご利用いただけます。

熊本日日新聞社

支えあおう熊本 いま心ひとつに

読者の皆さんへ 今こそ10年前の教訓を

2026.8.3

「関連死でないとすれば、母の死は何だったのでしょう」。2016年の熊本地震から2年ほどたった頃。職場で取った受話器の向こうから女性の悲痛な声が聞こえてきました。

地震の直後にくなった女性の母親は持病もなく、元気だったそうです。女性は熊本市に災害関連死と認定するよう申請しましたが、市は却下しました。女性は市に損害賠償を求める訴訟を起こし、最終的には「行政の問題点について主張は尽くした」と訴訟を取り下げました。

地震から10年となった今年、関連死認定制度の課題を整理するため、改めて話を聞いてはどうかと後輩記者に女性を紹介しました。取材後お礼の電話をかけ、「もう10年になるんですね」と言い合いました。

7月28日。「もう10年」と考えていた前月が一瞬で吹き飛びました。職場の4階で打ち合わせ中、あの日に感じた強烈な揺れと、視界がゆがむような感覚に襲われました。最大震度は、またしても7でした。

16年の地震と異なり、それこそ災害級の暑さの中での被災です。今も約4万6700戸が断水を強いられる中、被災された方々の健康状態は大丈夫なのか、いつ水は出るのか、避難先から自宅に戻れるのか、いつなのかと気をもんでいます。

2日には、車中泊をしていた70代女性が熱中症の疑いで死にしたことが明らかになりました。今回の地震による初の関連死の可能性があります。16年の熊本地震は犠牲者のうち、8割を関連死が占めました。10年前の教訓を今こそ生かさなければなりません。同じ轍を踏まないよう、自分たちの報道も顧みながら検証していきます。

一方、じくじたる思いが続いています。普段より少ない16%の新聞を届けるすべを得ない状態が続いているためです。7月の地震で八代市の製紙工場が被災し、用紙の安定的な確保ができなくなってしまいました。

復旧・復興に向けて10年間積み重ねてきたものを一気に壊すような自然の力を前に「なぜ、また熊本なのか」と途方にくれた人は大勢いることでしょう。新聞にできることは限られていますが、記者たちも被災しながら取材を続けています。取材で真摯けた確かなニュース、非常時の生活に役立つ情報、共感してもらえる話題を届けたいと思います。

熊日の1面に「支えあおう熊本」という標語を掲げているのは、16年の地震がきっかけでした。熊本はその後も豪雨災害や記録的大雨を経験し、時に倒れそうになりながら歩み続けてきました。そしてまた、復旧・復興のスタート地点に立たされました。災害の多い地域で暮らす県民の絆の印として、私たちは標語を掲げ続けます。

(編集局長 石貫謹也)

たから箱

2026.8.3

「私(わたし)の村」
西原村立山西小5年
橋本(はしもと) しほり

大人も子どもも
困ってるあっても
何があっても
私の自まんの村だ

みんな仲良し
のりこえる
あきらめない

新生面

他を覆う繁殖力 くまもと花散歩 3面へ

愛知県豊田市トヨタ町1番地。言わずと知れたトヨタ自動車の本社所在地である。1958年までは挙母市だった。社名がそのまま住所になるとは、さすが世界トップ企業の城下町▼自治体名まではいかなくても、町名に企業名が採用された例は数多い。熊本県内では「十条町」「興国町」が知られる。いずれも八代市に工場を構えた十條製紙、興国人絹、三菱酒造の住所。社名が変わっても、工都の発展を長く支えてきた▼先週の地震で、旧十條の日本製紙八代工場が悲しい事故に見舞われた。煙突3本が倒れるなどして9人が亡くなった。揺れには備えていたが、あまりの激しさに踏ん張れなかったか。工場全てが壊れたような状況からしれない▼八代は江戸時代から和紙の産地として知られ、明治になって機械製紙が始まった。大正末期に操業を始めた八代工場が歴史を受け継ぎ、すでに1世紀を超えた。本紙も世話になっている新聞用紙などの製造拠点だ▼八代で暮らした日々を思い出せば、熊本市から国道3号を南下すると、あるいは八代駅で列車を降りても、赤と白に塗られた煙突に迎えられた。離れていてもしばし視界に入る。製紙工場特有の臭いが苦手な人でも、八代を強く感じる風景に違いない▼八代城主ゆかりの国指定名勝「松浜軒」の被害も大きい。駅前にある老舗の喫茶店は倒壊した。地震は命を奪い、建物を壊し、歴史や産業、日常の営みまで危うさ。被災者の心の風景にある煙突もたくさん折れている。

熊本地震ライフライン情報

2026年(令和8年) 8月3日 月曜日

購読・配達のご用は ミナヨムニッコリ 0120-374625

紙面のお尋ねは 096-361-3115 (土・日・祝日除く9:00~17:00)

あすを読む

発行所 熊本日日新聞社 〒860-8506 熊本市中央区世安1-5-1 ☎代表(096)361-3111 ©熊本日日新聞社2026

熊本日日新聞

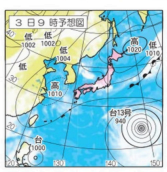
NEWS INDEX

2026年熊本地震

イオン爆発 店内戻り犠牲 15
エレベーター停止 困った 2
自宅に断層 くっきり 3
日本製紙八代工場 再開見通せず 4
罹災証明 並んでも申請できず 14
過酷な暑さ 片付け阻む 14

米 大規模イラン攻撃「中止」 5
バレー日本男子 メダル逃す 6
〝天授〟の巨大な実 高級干し柿に 10
8|9 有明 初の聖地に挑む 甲子園特集
社説 日奈久断層帯 2面
みんなのスポーツ 10面 読者ひろば 12面

TODAY'S WEATHER



3日は晴れるが、午後は所によりにわか雨。最高気温は熊本市などで40度の所も。強い暑さ、熱中症に厳重警戒を。東の風、波は熊本、芦北0.5メートル。4日は東の風、弱く時々晴れ。波は熊本、芦北0.5メートル、天草1メートル。

	荒尾 玉名	山鹿 菊池	甲佐 山都	阿蘇	熊本	八代	人吉	水俣	天草
	28~40℃	26~40℃	25~39℃	23~34℃	28~40℃	26~38℃	25~38℃	26~36℃	25~39℃
朝	0	10	10	10	10	10	20	40	0
昼	20	10	20	10	20	10	40	40	20
夜	10	0	10	20	0	20	20	20	20

あすから8日間(熊本地方)

	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)
	28~38℃	27~39℃	28~37℃	29~34℃	28~34℃	28~33℃	28~33℃	28~34℃
降水確率	30	30	40	50	50	50	50	30

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

新刊 限りある人生を大切に生きるために

『なぜ生きる』著者による「新刊」

限りある人生を大切に生きるために 『なぜ生きる』著者による新刊 生きる目的 伊藤健太郎 著

試し読みはこちらから

伊藤健太郎 著 定価1,870円(税込) ISBN 978-4-86626-101-0

※62歳・女性 年齢を重ねる中、心の奥にあった漠然とした不安が消え、心がスーッと軽くなりました。ただの暇つぶしではない、生きる「本当の目的」の確かな指針を得た思いです。

※71歳・女性 これほどまでに深く、命の尊さを説いた本があるでしょうか。読み進めるうちに涙が止まりませんでした。自分自身の人生を肯定できただけでなく、大切な人にも読んでほしいと切に思い、娘にも贈りました。迷っている人がいるなら、ぜひ手に取ってほしい。人生の景色が変わります。

大切な人にも贈りたい1冊

※58歳・男性 退職が近づき、この本と出会い、目からうろこでした。人生の再出発の必読書でした!

試し読みはこちらから

※54歳・男性 これから先、何を目標にしてゆけばと考えると、これから先、何を目標にしてゆけばと、不安とむなしさだけが残ります。そんな時、この本に会いました。まさに、私が迷っていた道を切り開いてくれました。何度くり返し読んでもすばらしい!

※52歳・女性 人生半ばを過ぎて、子供も成長し、いざ自分のことを考えると、これから先、何を目標にしてゆけばと、不安とむなしさだけが残ります。そんな時、この本に会いました。まさに、私が迷っていた道を切り開いてくれました。何度くり返し読んでもすばらしい!

※77歳・男性 もっと早く、この本に巡り会えていたら、私の人生もかなり違った人生であったと思います。でも人生の終末を、この輝かしい本のおかげで、私も花道を飾れそうな気がいたします。この本を、これからの人生の教科書としてまいります。

※80歳・女性 80歳を過ぎて、毎日をただ過ごすだけになっていました。この本を読み、「なぜ生きるか」という本当の意味が分かり、目の前がパッと明るくなりました。残された時間を、これほど愛おしく感じたことはありません。もっと早くこの本に巡り会えていたら……と思わずにはいられませんが、今、この時に出会えたことに心から感謝しています。

25年愛され続けて 103万部突破!

なぜ生きる 人生の目的は何か 明橋大二 精神科医 伊藤健太郎 哲学者 著 高森顕徹 監修 定価1,650円(税込) 978-4-925253-01-7

なぜ生きる

「もっと早く出会いたかった」 いいえ、今からでも決して遅くはありません

1万年堂出版 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-20-4F https://www.10000nen.com/ 全国の書店で販売中 ご自宅にお届け希望の方は右記へ。0120-975-732 (通話無料) 平日・午前9時~午後6時 (土休日は0120-276-146へ 午前9時~午後6時)

© Kumamotonichinichi shimbun All Rights Reserved.